

2018年（平成30年）2月期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2018年4月16日（月）

決算説明会：2018年4月23日（月）



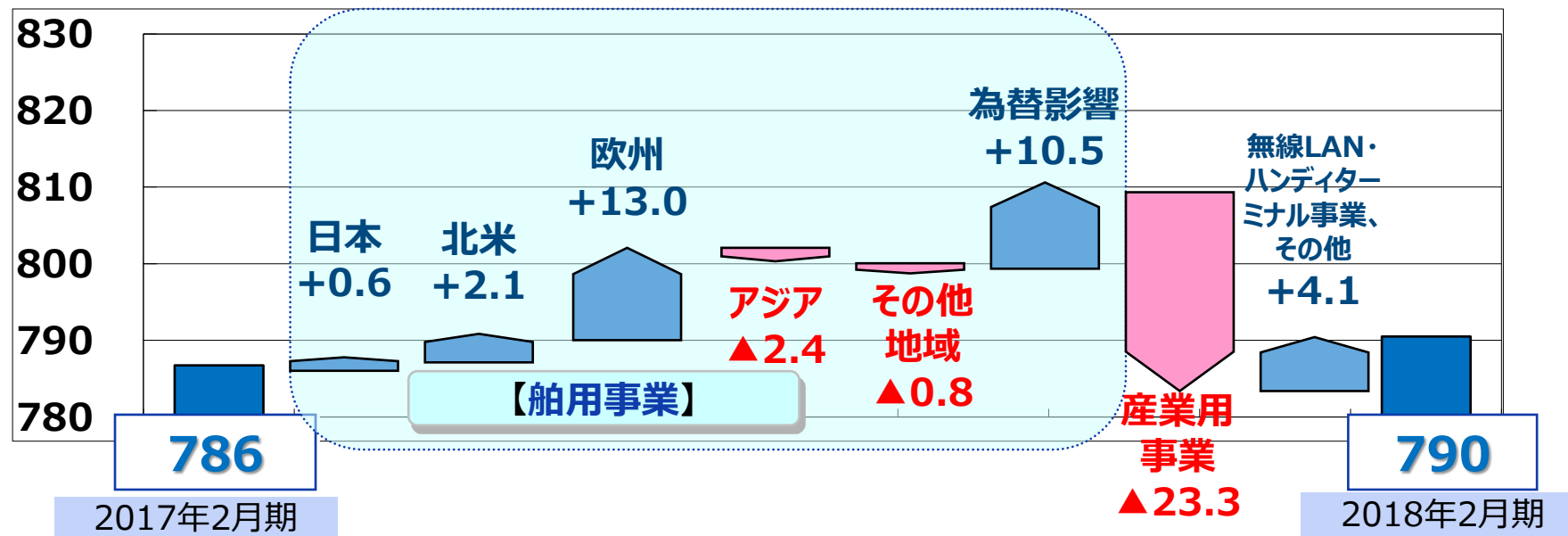
注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2017年2月期	2018年2月期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	78,674	79,050	+376	+0.5%
売上総利益	26,503	28,233	+1,730	+6.5%
(対売上高比率)	33.7%	35.7%	+2.0	
営業利益	1,534	1,992	+458	+29.8%
(対売上高比率)	1.9%	2.5%	+0.6	
経常利益	1,458	1,857	+399	+27.3%
(対売上高比率)	1.9%	2.3%	+0.5	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,262	1,236	▲26	▲2.0%
(対売上高比率)	1.6%	1.6%	▲0.0	
研究開発費	4,253	4,470	+217	+5.1%
(対売上高比率)	5.4%	5.7%	+0.2	
設備投資額	3,863	3,036	▲827	▲21.4%
(対売上高比率)	4.9%	3.8%	▲1.1	
減価償却費	2,924	3,225	+301	+10.3%
(対売上高比率)	3.7%	4.1%	+0.4	
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	111	112	+2	+1.4%
為替（対ユーロ）	121	127	+5	+4.4%

(単位：億円)



◆ 船用事業 +23億円

- 為替影響 +11億円
- 日本：前期並みに留まる
- 北米・欧州：商船向け増収
- アジア：商船向け減収拡大

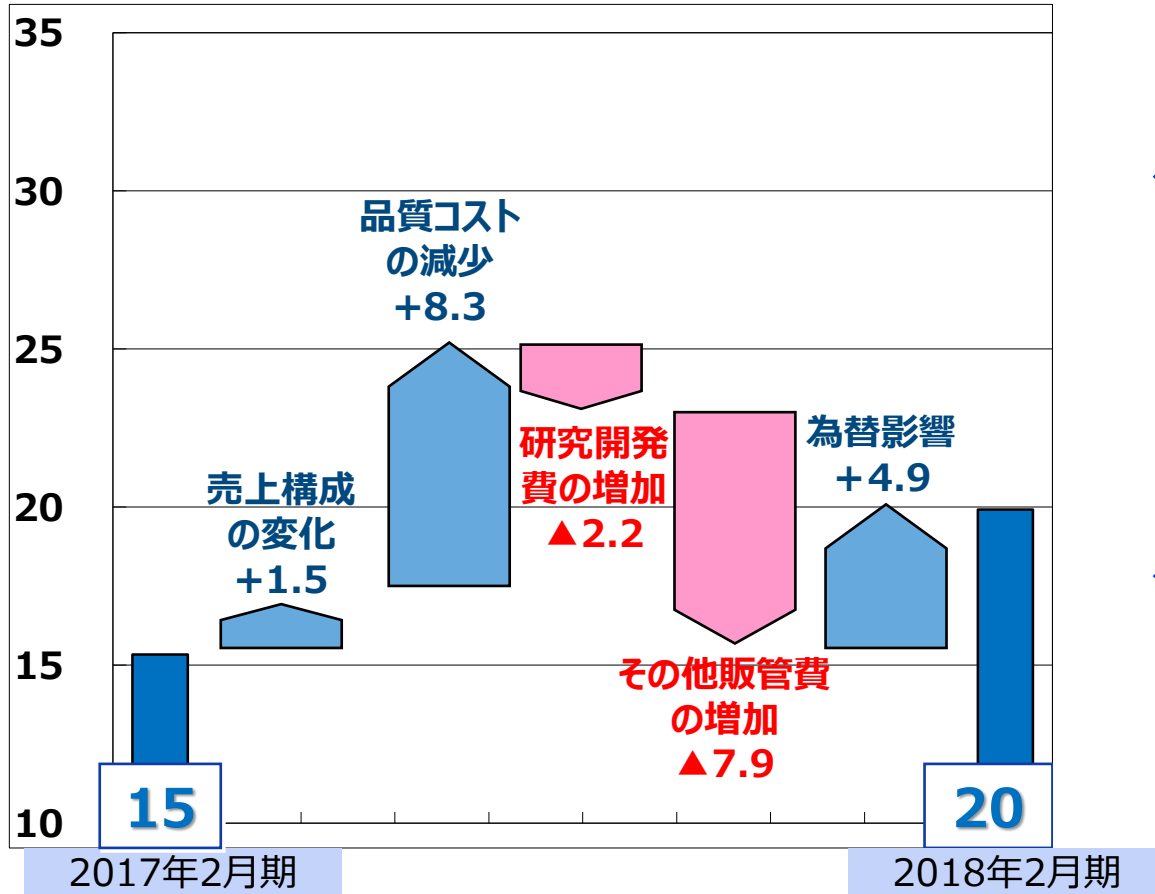
◆ 産業用事業 ▲23億円

- ヘルスケア事業、通信・GNSSソリューション事業ともに減収
- ◆ 無線LAN・ハンディターミナル事業 +2.9億円
 - 無線LANアクセスポイントが好調
- ◆ その他 +1.2億円

※ 為替感応度 (2018年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.1億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.7億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆ 営業利益 +4.6億円

【改善】 +14.6億円

【悪化】 ▲10.0億円

◆ 経常利益 +3.9億円

営業外収益 +0.9億円

営業外費用 +1.5億円

▶ 前期：為替差損 2.9億円

▶ 今期：為替差損 4.9億円

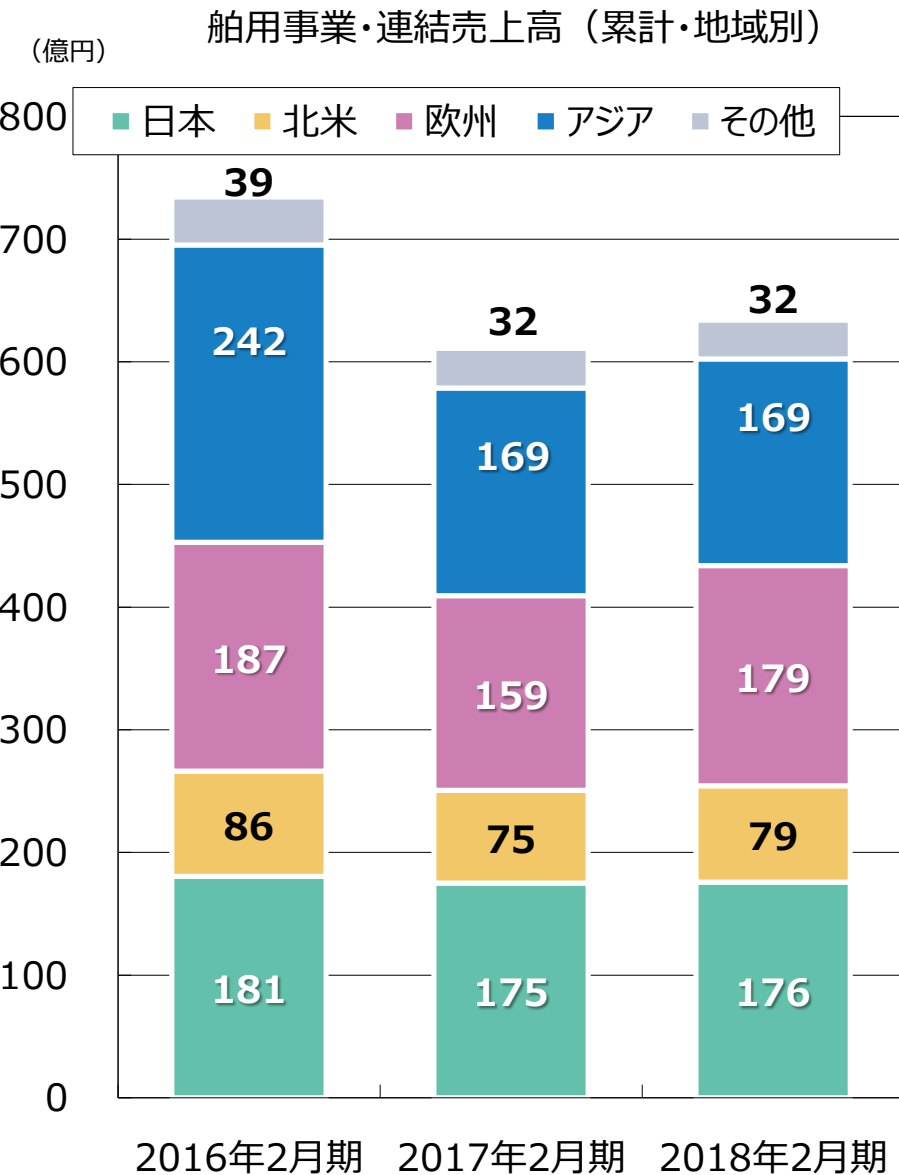
◆ 当期純利益 ▲0.3億円

特別利益 +1.4億円

▶ 今期：

投資有価証券売却益 1.0億円

法人税等合計 +5.7億円



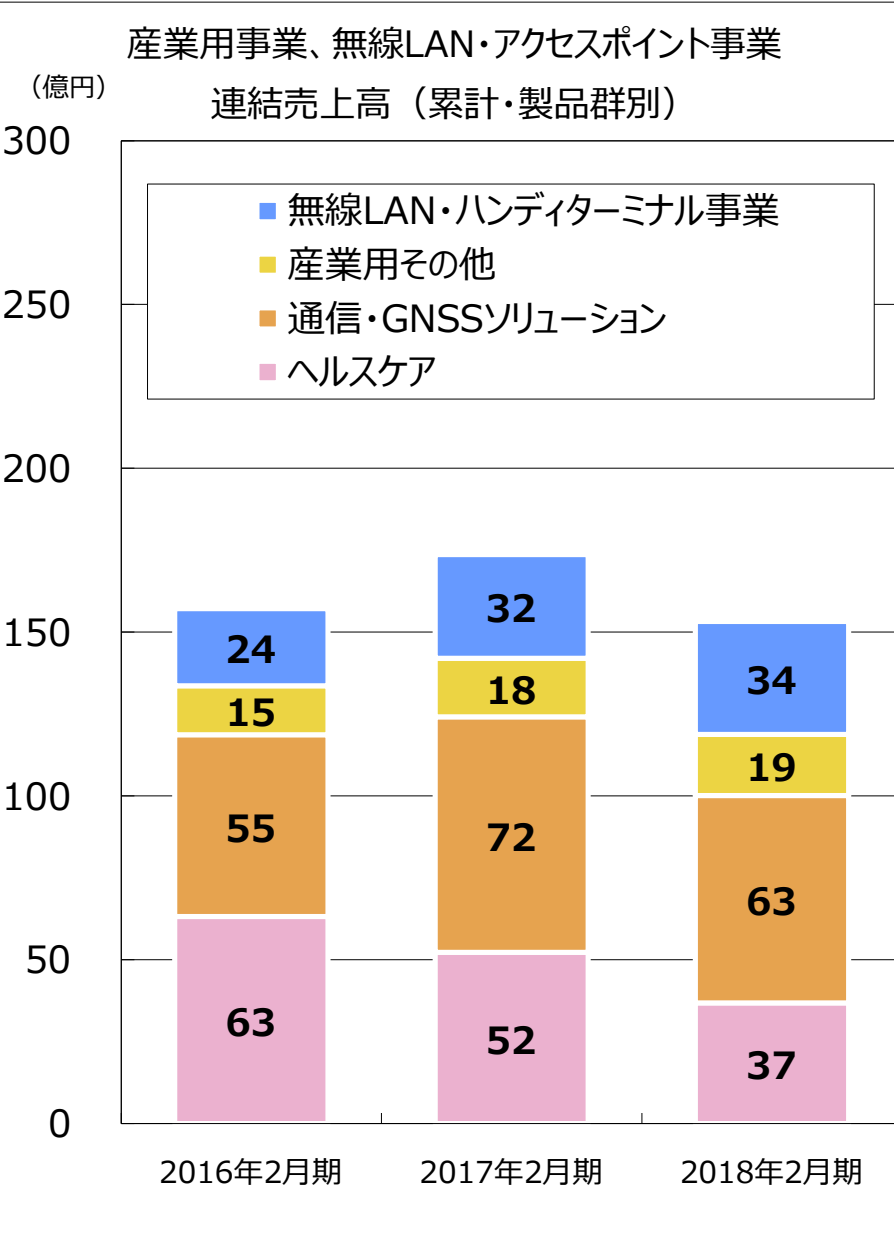
船用事業：増収増益

売上高 634億円（前年同期比+3.8%）

セグメント利益 7.7億円（+5.2億円）

⇒商船・漁船向け売上の増加と為替影響で増収増益

- ◆日本：売上高176億円（+0.3%）
 - 漁業向け、商船向け増収継続
- ◆北米：売上高 79億円（+4.3%）
 - 漁業向け、商船向け増収継続も、小型商品は依然低迷
- ◆欧州：売上高 179億円（+13.1%）
 - 商船向けが増収継続、小型商品は増収に転じる
- ◆アジア：売上高 169億円（▲0.5%）
 - 漁業向け、小型商品増収も、商船向けの減収響く



産業用事業：減収減益

売上高 118億円（前年同期比 ▲16.4%）

セグメント利益5.9億円（▲0.6億円）

⇒大型生化学自動分析装置やETC車載器の売上が減少、
減収減益

◆ヘルスケア事業：売上高 37億円（▲29.5%）

➤大型の生化学自動分析装置の売上が減少（▲19億円）

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 63億円（▲11.9%）

➤周波数発生装置の売上が増加

➤ETC車載器の売上が減少

無線LAN・ハンディターミナル事業：増収増益

売上高 34億円（前年同期比 +9.3%）

セグメント利益5.6億円（+2.1億円）

⇒無線LANアクセスポイントが好調

2019年2月期 業績予想と 中長期事業展開

中長期事業展開の事業像（2020年度のありたい姿）

ビジョン：安全安心、環境にやさしい社会、航海の実現

◆ 舶用事業

舶用電子機器を核とした海洋総合企業として、創造と革新に満ちた事業活動を通じて、「海洋に関わる顧客の安全・安心な航海の実現と海洋文化の発展」に寄与する

◆ 防災・監視ソリューション事業

「SPC&I」(※) によるシステムソリューションで、身近な「安全」「安心」を社会に提供する

◆ ヘルスケア事業

人々が健やかで負担の少ない医療を享受できるように「メディカルケアを中心としたヘルスケア」に貢献する

◆ 通信・GNSSソリューション事業

「安全で利便性の高い、人と車と社会の環境づくり」へ貢献する

「SPC&I」：当社が提供する価値の源泉 = コアコンピタンスを示す呼称です。

センシング (Sensing) 、情報処理 (Processing) 、情報通信 (Communication) という3つの技術に、事業活動で培った知識・経験・スキル・ノウハウを統合 (Integration) することで、お客さまに役立つさまざまなソリューションをグローバルに提供することを意味しています。

中期経営目標（2018年度～2020年度）

2020年度連結業績目標「売上高：860億円、営業利益率：5%、ROE：8%」

※2020年度連結業績目標の想定為替レートは「110円／ドル、120円／ユーロ」です。

※当社の中期経営計画は期間3年で策定しますが、市場環境の変化などを勘案して毎年見直す「ローリング形式」を採っております。

※前回策定の中期経営目標（2017年度～2019年度）では最終年度（2019年度）の連結業績目標を「売上高：900億円、営業利益率：4.5%、ROE：8.5%」とし、想定為替レートを「100円／ドル、110円／ユーロ」としておりました。

◆【基本戦略】

- 事業と業務、2つの選択と集中による収益力の抜本的な改善

◆【全社】

- 顧客価値の向上を目的とした品質改革の徹底
- IoT・ICT活用による事業機会の創出
- グローバルな事業推進を支えるIT基盤の強化と財務戦略の推進

◆【船用事業】

- コア事業の収益確保と新規事業の収益安定化
 - ・ライフサイクルサポート（新造・保守・換装）の実現（商船向け事業）
 - ・資源管理型漁業への対応と漁業新興国市場の開拓（漁業向け事業）
 - ・選択投資による採算改善と小型ワークボート向け事業の強化（小型商品事業）

◆【産業用事業】

- 自社製品の販路拡大・営業力強化と戦略商品による収益向上（ヘルスケア事業、通信・GNSSソリューション事業）

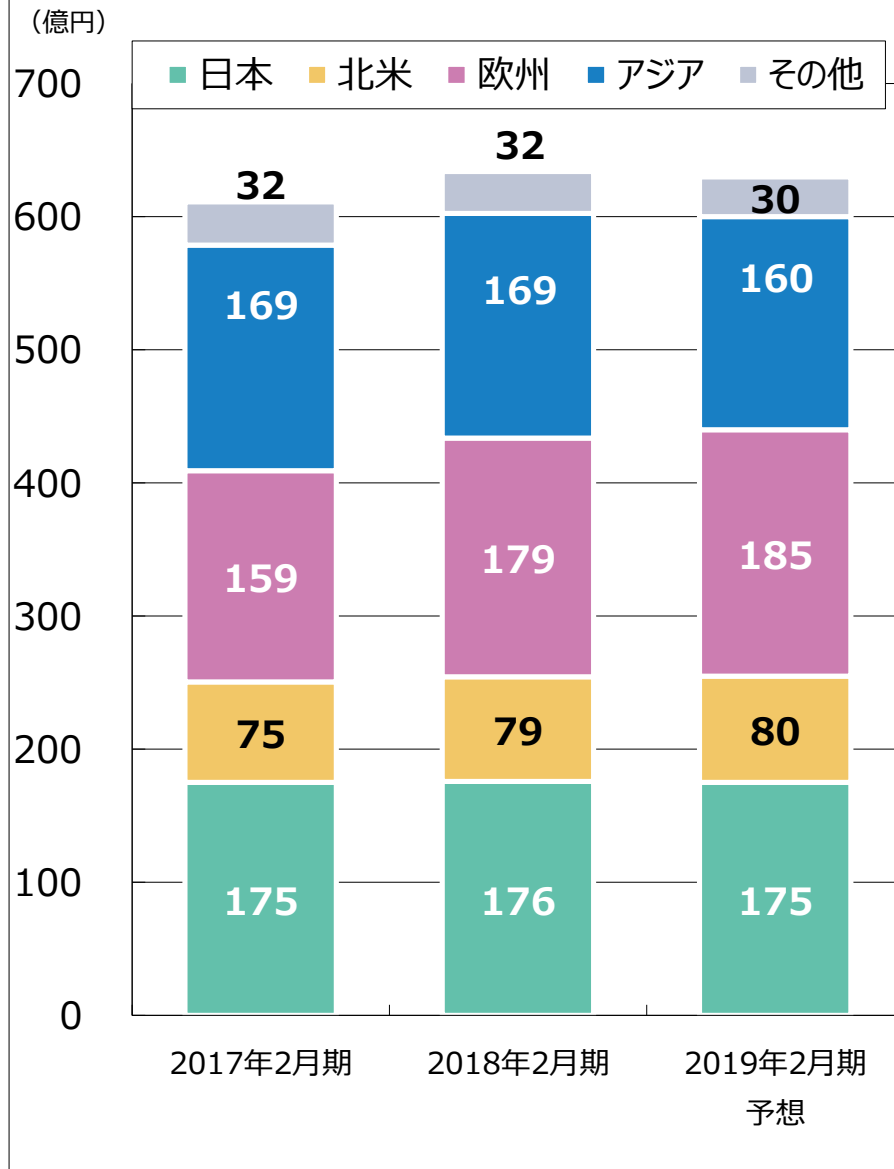
(単位：百万円)	2018年2月期	2019年2月期 予想	増減比（額）	増減比（率）
売上高	79,050	79,000	▲50	▲0.1%
売上総利益 (対売上高比率)	28,233 35.7%	28,400 35.9%	+167 +0.2	+0.6%
営業利益 (対売上高比率)	1,992 2.5%	2,200 2.8%	+208 +0.3	+10.4%
経常利益 (対売上高比率)	1,857 2.3%	2,000 2.5%	+143 +0.2	+7.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	1,236 1.6%	1,500 1.9%	+264 +0.3	+21.3%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	112	105	▲7	▲6.5%
為替（対ユーロ）	127	130	+3	+2.5%

(単位：百万円)	2018年2月期	2019年2月期 予想	増減比（額）	増減比（率）
研究開発費 (対売上高比率)	4,470 5.7%	4,600 5.8%	+130 +0.2	+2.9%
設備投資額 (対売上高比率)	3,036 3.8%	3,000 3.8%	▲36 ▲0.0	▲1.2%
減価償却費 (対売上高比率)	3,225 4.1%	3,300 4.2%	+75 +0.1	+2.3%

配当について

(単位：円)	中間	期末	年間	配当性向
2017年2月期	4.00	4.00	8.00	20.0%
2018年2月期(案)	4.00	6.00	10.00	25.5%
2019年2月期(予想)	5.00	5.00	10.00	21.0%

船用事業・連結売上高 (累計・地域別)



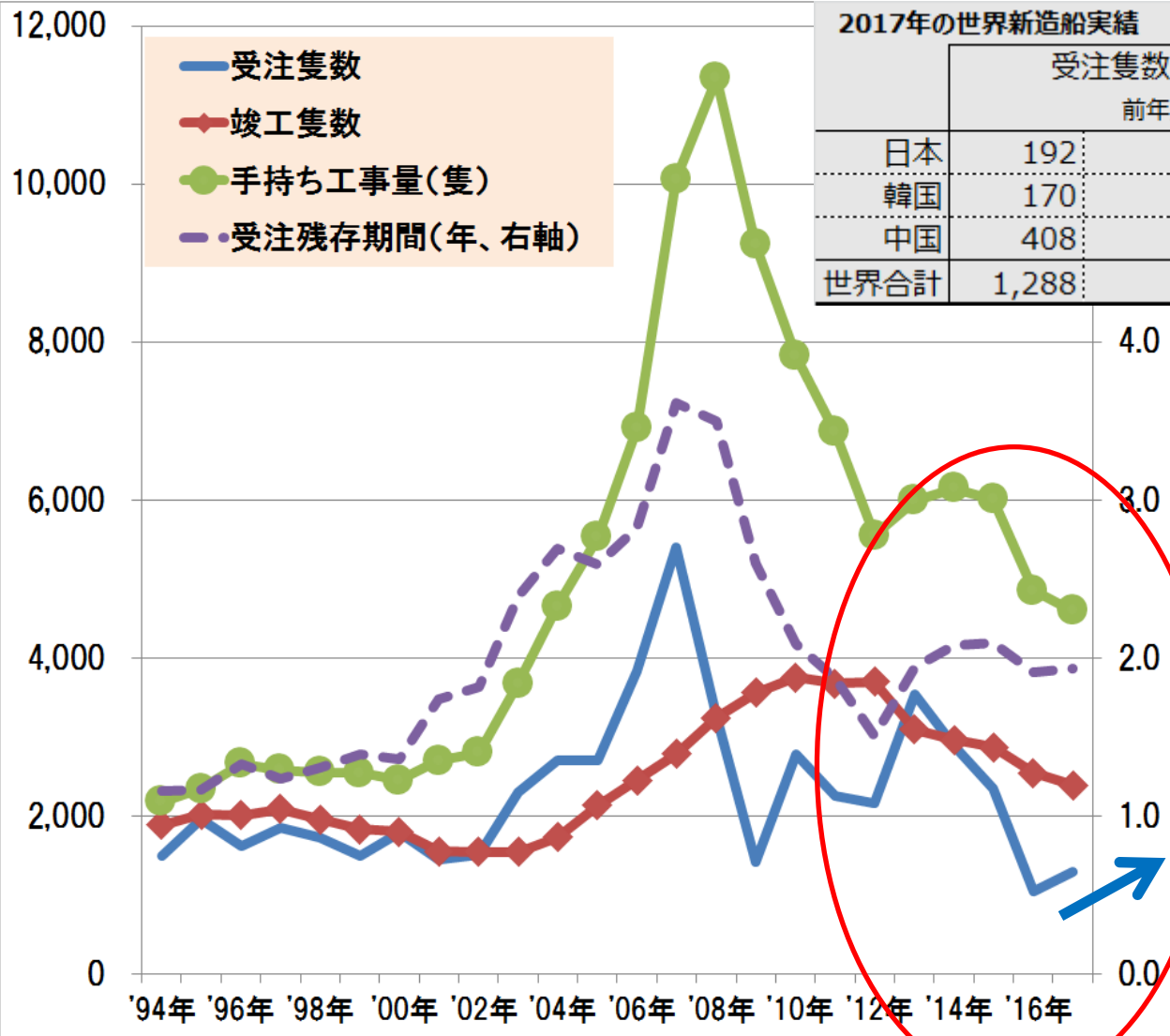
2019年2月期業績予想

船用事業：

売上高 630億円 (前年同期比▲0.6%)

セグメント利益 12億円 (+4.2億円)

- ◆日本：売上高 175億円 (▲0.4%)
 - 商船向けは減収見込む一方、漁業向け拡販を推進
- ◆北米：売上高 80億円 (+1.7%)
 - 漁業向けおよび小型商品 (主にプレジャー向け) の拡販
- ◆欧州：売上高 185億円 (+3.1%)
 - 商船 (既存船) 換装需要の確実な取り込み、漁業向けおよび小型商品の拡販
- ◆アジア：売上高 160億円 (▲5.2%)
 - 商船向けは中国・韓国の新造船市況低迷の影響を受け減収見込む一方、漁業新興国の需要喚起強化

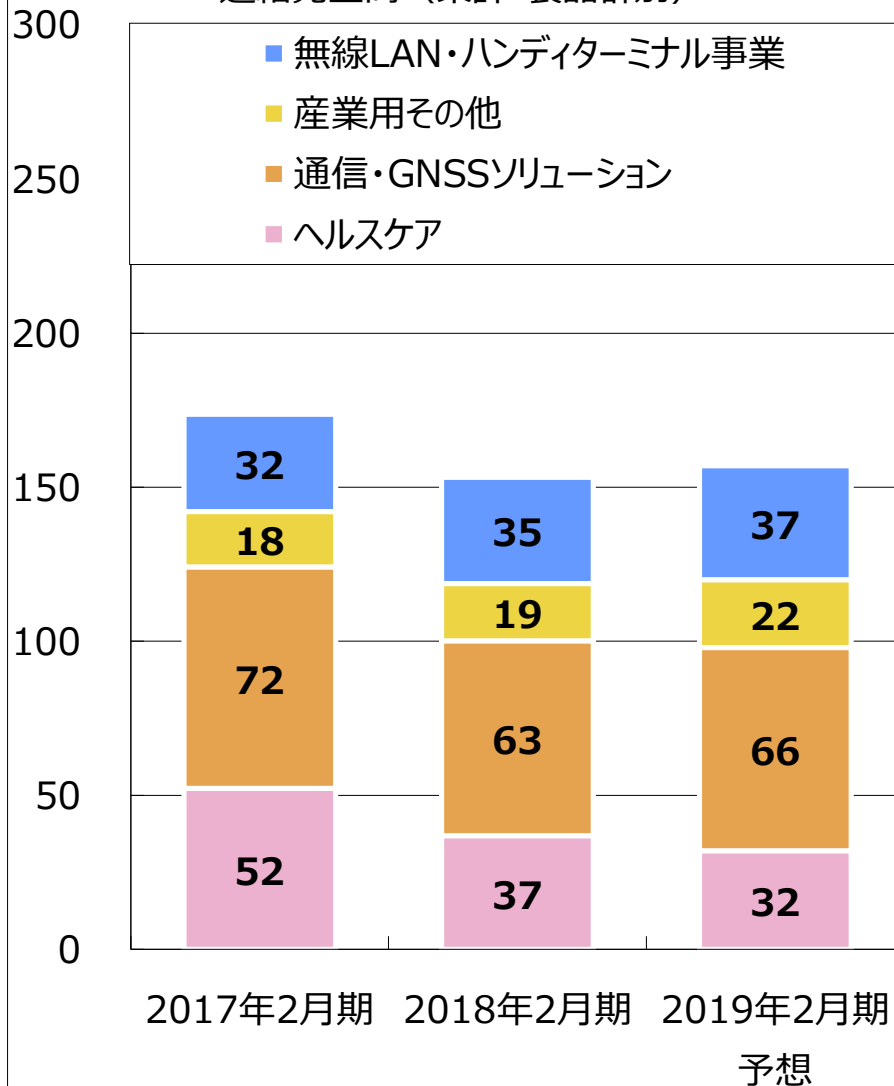


	受注隻数		竣工隻数		受注残 (隻数)	
	前年比 (隻)	前年比 (隻)	前年比 (隻)	前年比 (隻)		
日本	192	9	489	-25	737	-131
韓国	170	81	288	-71	403	-80
中国	408	131	778	-46	1,694	-100
世界合計	1,288	244	2,385	-158	4,598	-253

- ◆ 新造船の建造需要：'17年受注隻数は増加に転じるも本格回復には至らず
- ◆ 主要造船各社：事業環境悪化で日中韓いずれも業界再編・連携加速
- ◆ 主要海運各社：輸送需要堅調、中長期的な需給バランス改善を見越して運賃市況は回復基調で推移
(数値データ出典：[日本造船工業会資料](#))

新造船受注・竣工の推移
日本造船工業会資料をもとに自社作成

産業用事業、無線LAN・アクセスポイント事業
連結売上高 (累計・製品群別)



2019年2月期業績予想

産業用事業：

売上高 120億円 (前年同期比 +1.0%)

セグメント利益 5.0億円 (▲1.0億円)

◆ヘルスケア事業：売上高 32億円 (▲13.2%)

▶ 中小型生化学自動分析装置の拡販

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 66億円 (+4.3%)

▶ ETC2.0車載器等の自社戦略商品の拡販およびソリューションビジネスの強化

無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 37億円 (前年同期比 +7.2%)

セグメント利益 5.0億円 (▲0.7億円)

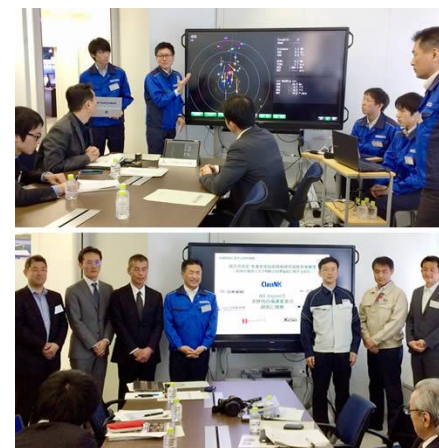
⇒文教向け無線LANアクセスポイントの拡販

AR技術を活用した航海情報表示システムを共同開発

- ◆ 2017年12月、AR（拡張現実）技術を活用して航海中の操船を支援するシステムを、株式会社商船三井、商船三井テクノトレード株式会社と共同開発することに合意しました。
- ◆ 本システムは、自動船舶識別装置の情報をもとに、自船の周囲を航行する船やランドマーク（例：海上に存在するブイ）などの情報を、船橋からの風景を撮影した映像に重ねて表示することで、運航中の乗組員の操船や見張りを視覚的にサポートします。将来的には、自律航行船の実現にも寄与する技術として開発を進めていきます。

「船舶の衝突リスク判断と自律操船に関する研究」を一部発表

- ◆ 2017年12月、日本郵船株式会社、株式会社MTI、株式会社日本海洋科学、日本無線株式会社、東京計器株式会社と共同で、「船舶の衝突リスク判断と自律操船に関する研究」の一部内容を発表しました。
- ◆ 本研究は、日本郵船が提案者となり、当社を含む上記5社を共同提案者として、国土交通省による支援を受けて実施しています。乗組員の負担を軽減し安全運航につなげることを目的として、現在、船舶の衝突リスク判断を容易にする機能、陸上からの遠隔操船、AR技術を利用した航海支援ツールの研究開発が進行中です。



補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2018年2月28日現在



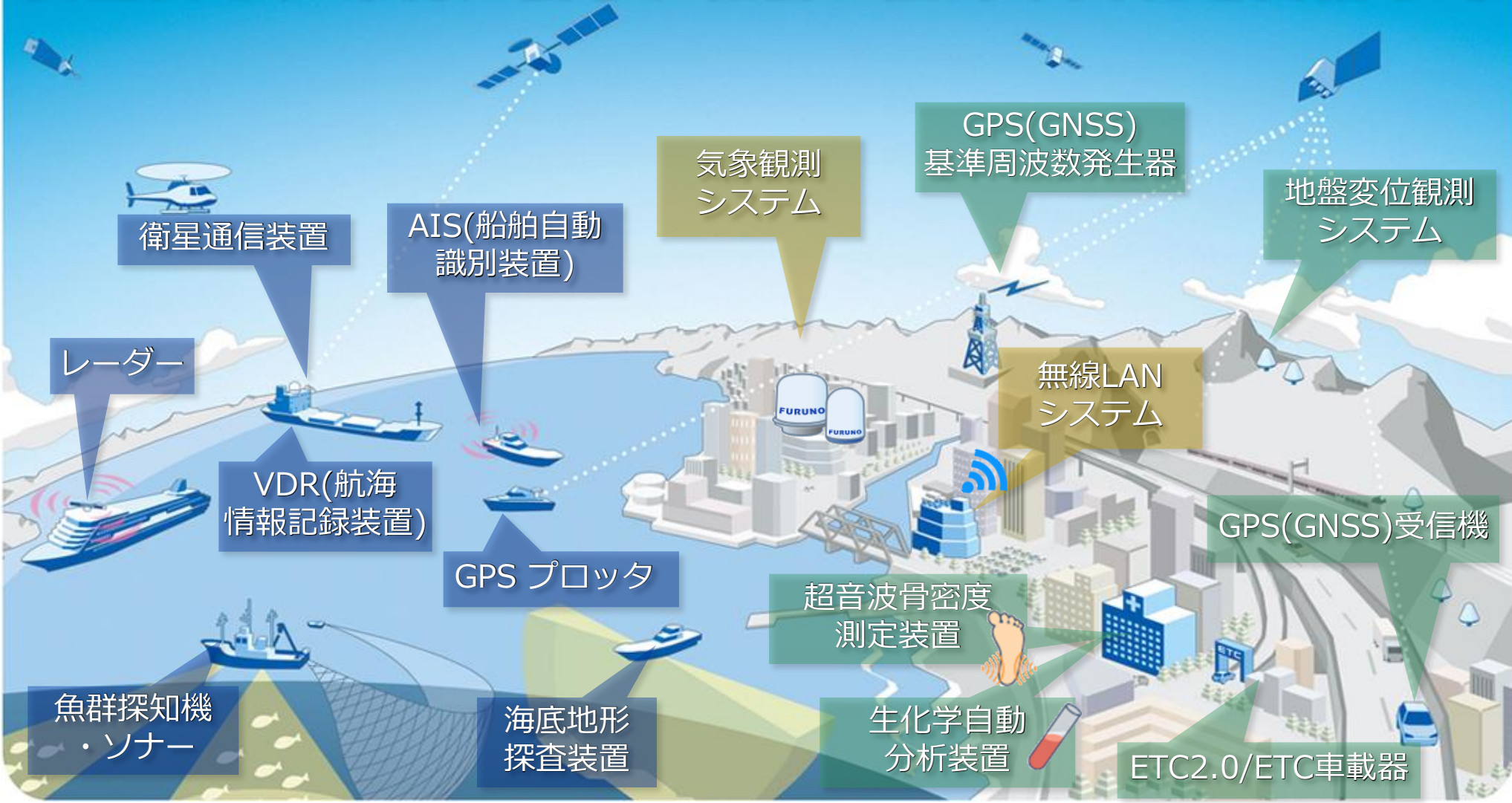
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年（昭和26年）
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

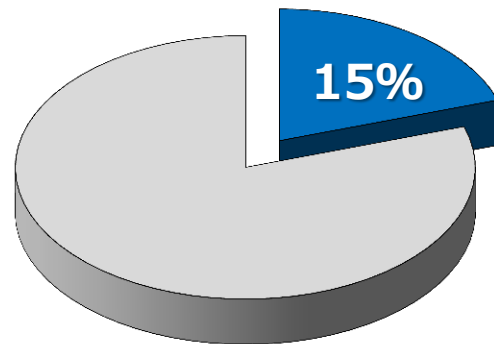
企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して



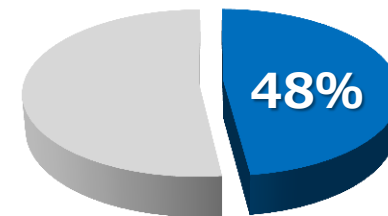
市場規模は、2016年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



市場規模 1,700億円

漁業向け



市場規模 500億円

総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 3,900億円のうち、シェア16%占める)